地元イベント情報

■あやこと語ろうランチ会開催します

04/05(土)
12:00-14:00頃
※11:45頃から受付開始

旭区のコミュニティカフェである「ハートフルポート」をお借りしてランチ会を企画しています。
どなたでも大歓迎です。是非お気軽にご参加ください。

場　　所　：　ハートフルポート　横浜市旭区南希望が丘58
費　　用　：　1,500円（お弁当・飲み物代）
※現金でお持ちください

■2025春フェス@希望が丘商店街

04/20(日)
10:00-19:00

当日は旭区マスコットキャラクターのあさひくんや、お笑い芸人小島よしおさんも登場！毎年大人気のカートレースや相鉄バスのキッズスペースなど盛りだくさんの内容で開催します。

場　　所　：　希望が丘商店街

※雨天決行・荒天の場合は中止
注視の場合はホームページ及び希望が丘商店会掲示板にて告知します

増永あやこ市政報告書

あさひ･つなぐ･レポート

2025年
春号
vol.005

当事者目線を持ち多様な選択肢を

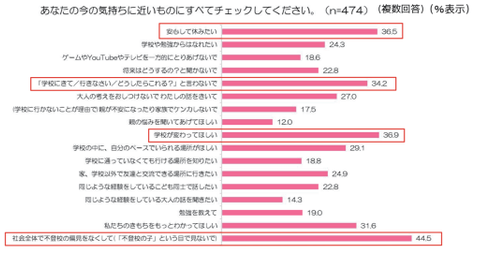
少しずつ春らしい陽気となってきました。議員生活も4年の任期の折り返しに差し掛かる私も、この季節は少しそわそわ落ち着かない気持ちになります。新たな環境に身を置く子ども達も、同じ気持ちかもしれません。

私は小学校教員として3年間従事した経験があります。最近では不登校やいじめ、学校での様々な課題についての相談を数多く受けるようになりました。時には当事者の子ども達から直接、現状や要望を聞く機会もあります。教育現場の先生方の献身的な努力には深く尊敬していますが、子どもたちの声は多くの学びを貰えることも事実です。時には保護者や教師の認識と子どもの認識に差があることもあり、当事者視点の重要性を実感します。

先日、興味深い統計データを拝見しました。若くして自死を選択する方の7～8割が不登校経験者であり、その大半の方は、不登校から学校復帰をしているというのです。「不登校が命の浮き輪となっているかもしれない」。この視点に立てば、学校復帰だけでなく、オルタナティブな学びの場も、子どもたちの健全な成長のための重要な選択肢となると感じます。学校や行政の「大人」は、子どもの声をきちんと聴けているでしょうか。

横浜市教育委員会では、令和7年度から「不登校支援・いじめ対策部」を新設する予定です。この専門部署には、学校現場、保護者、そして何より子どもたちの声に真摯に耳を傾け、多様な支援の実現を期待しています。議員として、この部署が子どもたちの困り感を効果的に解消できるよう、建設的な提案を継続していきたいと思っています。

春は出会いと別れの季節。自由な選択肢を持ち、子どもが明日に希望を持てる、そんな社会を引き続き目指していきます。



「社会全体で不登校の偏見をなくして」が1位（44.5%）、「学校が変わってほしい」が2位（36.9%）だった。「安心して休みたい」、「登校刺激をしないでほしい」、というニーズも次いで高かった。

出典：「不登校のこどもの育ちと学びを支える当事者実態ニーズ全国調査報告資料」

議会トピック

■市民代表として質問に立ちました

令和6年3月、横浜市会議員として決算第一特別委員会に出席し質問に立ちました。

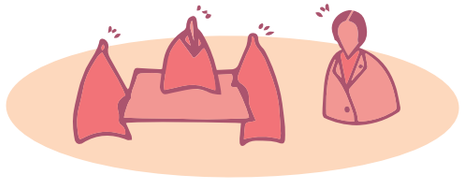
令和７年度に向け、山中市長が作成した予算案について、市民の目線に立って順次質問を行いました。

Pick Up!

＜みどり環境局＞

増永：みどり税を活用した取り組みに、保育園や小学校を対象とした「保育園・幼稚園・小中学校等での緑の創出・育成事業」がある。各区で活用実績に差があるため、各局と連携してもらいたい。

みどり環境局：今後、様々な会議や研修にこちらから伺う。校庭の芝生化などの講習会への参加を呼びかけるなど、事業化に向けた連携を一層進める。



■経済局

増永：プレミアム付商品券の発行は、物価高騰が続く中、市民の皆様には大変好評。令和６年度の実施状況を踏まえ、幅広い参加店舗で利用が促進されるよう工夫する必要がある。

経済局：参加いただく店舗の規模に関わらず、幅広く商品券の効果が行き渡るよう、発行主体とともに研究、検討していきたいと考えています。

＜道路局＞

増永：都市計画道路鴨居上飯田線及び保土ケ谷二俣川線の整備について、この付近の地域は、生活道路が入り組んでおり、朝の通勤通学時間帯は狭い道路を車と歩行者が行き交い、車道にはみ出して歩かざるを得ないという状況。今年の12月までに確実に開通できるよう、今後もしっかりと進めてほしい。

道路局：地域の皆様には大変長い間お待たせした。12月に確実に開通するよう、総力を挙げて取り組む。

教育トピック

■多様な学び議連のメンバーで川崎夢パークへ視察しました

「不登校」にどう向き合う？～子どもファーストの取り組みとは～

◀夢パーク全景

▶視察メンバー

川崎市にある「子ども夢パーク」を学びの多様化地方議員連盟のメンバーと視察してきました。今回は視察全体のコーディネートも担当しました。

■夢パークとは？

川崎市子どもの権利条例に基づいて設立された、子どものための遊び場・学び場。

プレーパークをはじめ、スポーツ広場や学習交流スペース、音楽スタジオなど、さまざまな施設が利用できます。

不登校やいじめなど、学校生活になじめない子どもたちを受け入れ、多様な学びの機会を提供している複合型施設です。

当日は、夢パーク創設にもご尽力された、認定NPO法人フリースペースたまりば理事長の西野博之さん、そして多様な学びプロジェクトの代表生駒知里さんにも基調講演をしていただきました。

■「大人の良かれは、子どもの迷惑！」

子ども達の周辺環境の変化が著しい。特に現代の子どもがストレスを溜めがちであるということを言及されていました。

格差の拡大による貧困と過干渉という二極化はありつつ、いずれにせよ子どもたちは大きなストレスにさらされています。

特に過干渉については「大人の良かれは、子どもの迷惑！」、つまり、大人が子どもを先回りしてしまう。幼児教育等の早期教育や、習い事等は特にそれに当てはまりますよね。余白をどんどん奪ってしまうことで、子どもの自主性や自発性を発揮する機会が失われていく。

その結果、「できないこと」にばかり焦点が当たっていく子どもたち。自己肯定感が世界最下位になることもうなずけます。

あやこの自己採点！

増永が掲げる5つのポリシーについて今年度の達成状況を踏まえて自己評価をします

評価 ◎ POLICY 01 子育てを全力応援

横浜市の妊婦検診補助率が政令市の中でワースト1位であることを課題として挙げ、令和6年度に妊婦全員に5万円支給を実現させました。また医療的ケア児や障害児の保護者と座談会を実施し、園から見学すら断られる実態等を指摘。障害児の「保活」負担軽減を実現しました。

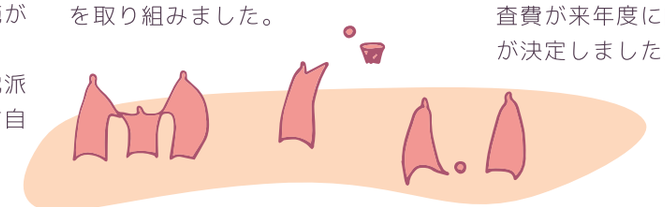
評価 ◎ POLICY 02 教育を起点とした地域の繋がりをはぐくむ

横浜市公立小学校において学年チーム担任制の導入を教育委員会に提案。令和6年度から学校でプチ・モデル実施、来年度から本格モデル実施が決定。

「多様な学び議連」を全国の超党派議員と立ち上げ、国に対して地方自治から提言する土台を形成。

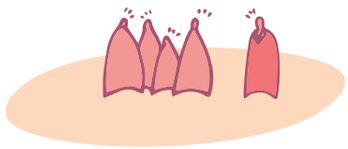
評価 ○ POLICY 03 誰もが住みやすい街づくり

希望が丘商店会理事に就任。商店会イベント等企画実施し、子どもから大人まで地元の顔が見える関係構築を取り組みました。



評価 △ POLICY 04 「横浜で働きたい」を増やす

テックハブヨコハマにおけるベンチャー企業サポートを提言。スタートアップに投資するファンドの検討調査費が来年度に向け計上されることが決定しました。

評価 △ POLICY 05 政治をもっと身近に感じられる市政に

市政報公会を実施し、SNS等の発信も実施しました。年間250以上のイベントに参加し、地域の方との交流をはかりました。